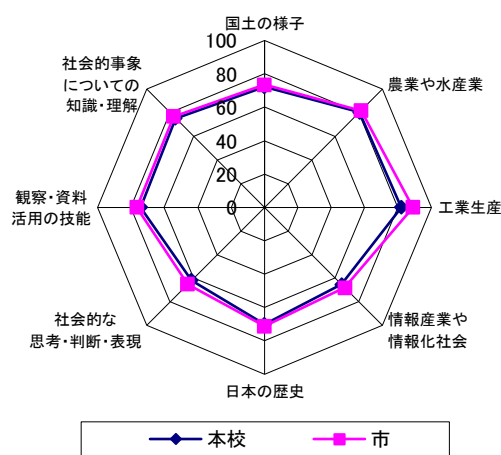


宇都宮市立平石北小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	72.2	73.6	76.2
	農業や水産業	80.6	81.9	77.5
	工業生産	81.9	88.9	83.4
	情報産業や情報化社会	65.3	68.2	61.0
	日本の歴史	70.0	71.1	70.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	61.8	65.1	62.1
	観察・資料活用技能	74.2	76.5	75.2
	社会的な思考・判断・表現	75.3	77.1	76.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	・正答率は、宇都宮市の平均をやや下回っている。 ・日本の周辺の海洋名や、主な国の名称と位置については、ほぼ理解している。 ・公害問題の理解についての問題は、正答率が宇都宮市の平均を約10ポイント下回っている。	・地図やグラフなどの資料の読み取り方を繰り返し指導するとともに、その特徴に当てはまる地域を限定することができるようにする。 ・自分たちの生活と環境について自ら課題をもち、インターネットや図書資料等を活用して調べるとともに、分かったことをまとめる活動を通して学習内容の理解を深める。
農業や水産業	・正答率は、宇都宮市の平均をやや下回っている。 ・日本の食料生産について、主な食料生産物の分布や食の安全確保のための工夫等、資料から正しく読み取ることができる。	・日本の食料生産の実情について最新の資料を基に理解させ、現状の問題点とその解決方法を話し合わせるなど、授業の展開を工夫し、学習内容の理解を深める。 ・理科など他教科との関連も図りながら、学習を進めていくようにする。
工業生産	・正答率は、宇都宮市の平均を7ポイント下回っている。 ・工業生産に従事している人々による環境保全への取り組みについて資料を見て考え、自分の言葉で説明する問題の正答率が、市の平均を約11ポイント下回っている。	・課題に合った資料を選び、読み取ったことを自分の言葉で分かりやすくまとめる活動を授業の中で繰り返し行い、考える力・表現する力を高める。 ・今までに学習してきた内容と関連づけて課題解決が図れるように指導方法を工夫する。
情報産業や情報化社会	・正答率は、宇都宮市の平均をやや下回っている。 ・放送や新聞などのメディア産業の役割についての理解度が低い。	・自分たちの生活がいろいろな情報から影響を受けて成り立っていることを理解させ、その活用方法や注意点について話し合いを通して考えさせる。 ・道徳など他教科との関連も図りながら、情報との関わり方の指導の充実を図る。
日本の歴史	・正答率は、宇都宮市の平均をやや下回っている。 ・弥生時代や戦国時代についての正答率は、90%以上と高い。 ・年表などの資料を活用して、時代の出来事や様子について読み取り、文章にまとめることが苦手である。	・それぞれの時代に起きた特徴的な出来事について、自分で調べたり、新聞にまとめたりするなど、授業の展開を工夫し学習内容の理解を深める。 ・現代社会の問題にも興味関心が持てるように、実生活や時事問題とも関連を図りながら指導していく。